

Lifting-drill



リフティングドリル キット

品番	価格
os000029	¥128,000

セット内容

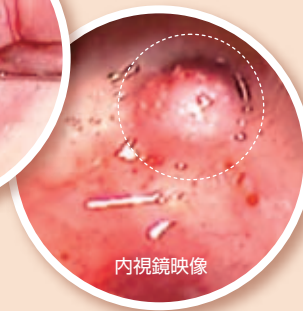
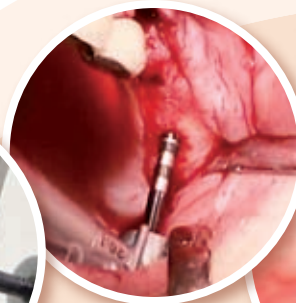
- ・リフティングドリル (5種)
φ2.5, φ3.0, φ3.25, φ3.5, φ4.0
- ・専用ハンドル (1個)
- ・エクステンション (1個)
- ・バースタンドケース

一般医療機器 特管非該当 医療機器届出番号：
13B1X10089000443, 13B1X10089000488, 13B1X10089000489

リフティングドリルでドリリングした場合、
切削片が上顎洞底粘膜と洞底骨を剥離すると同時にクッションとなり、
上顎洞粘膜にかかる圧が軽減されます。



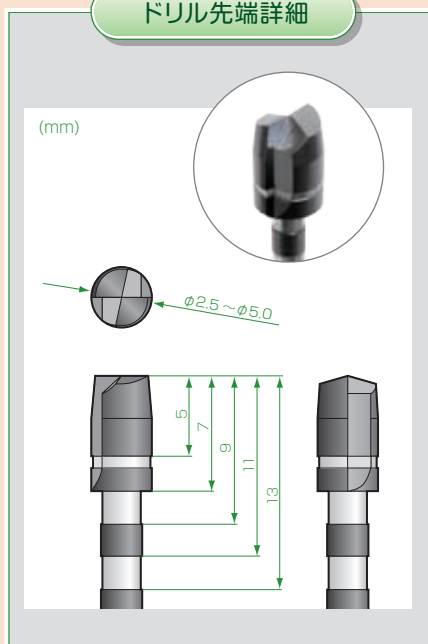
本製品での穿孔写真



内視鏡映像

SET

ドリル先端詳細



リフティングドリル

先端直径 (mm)	品番	価格
φ2.5	os000030	¥19,800
φ3.0	os000031	¥19,800
φ3.25	os000032	¥19,800
φ3.5	os000033	¥19,800
φ4.0	os000034	¥19,800
φ4.5 (オプション)	os000035	¥19,800
φ5.0 (オプション)	os000039	¥19,800

本製品は S-ドリル用ストッパーが使用できます。

一般医療機器 特管非該当 医療機器届出番号 : 13B1X10089000443

バースタンドケース

品番	価格
os000038	¥8,000

専用ハンドル

品番	価格
os000036	¥18,000

一般医療機器 特管非該当 医療機器届出番号：
13B1X10089000488

エクステンション

品番	価格
os000037	¥12,000

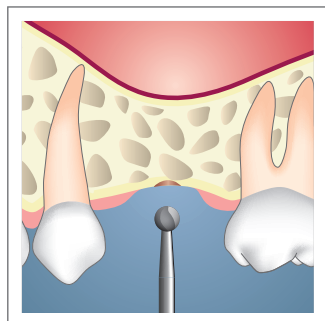
一般医療機器 特管非該当 医療機器届出番号：
13B1X10089000489

お
ね
が
い

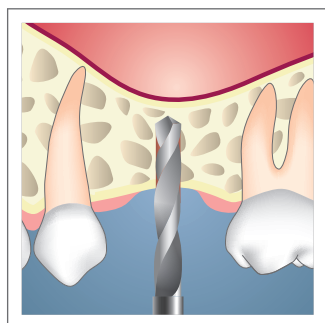
単品販売は、キットご購入のお客様に限らせていただきます。

リフティングドリル 使用説明書

本製品は、サイナスリフトの際、オステオームの代わりとして使用可能なドリルです。先端部の特殊な形状により、切削片が上顎洞底粘膜と洞底骨を剥離すると同時にクッションとなり、上顎洞底粘膜にかかる圧が軽減されることが特長となります。



1 挙上する骨部にラウンドバー（直径 2mm）でマーキングしてください。



2 $\phi 2.5\text{mm}$ のリフティングドリルを使用する場合

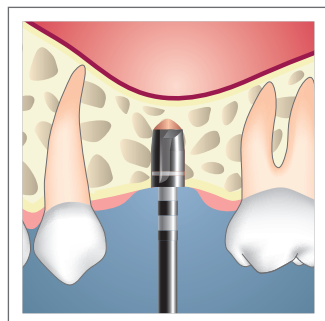
- ・マーキング部をツイストドリル（ $\phi 2\text{mm}$ ）で上顎洞底部直前（約 1mm 程度）までドリリングしてください。

- ・ $\phi 2.5\text{mm}$ のリフティングドリルが入るまで拡大してください。

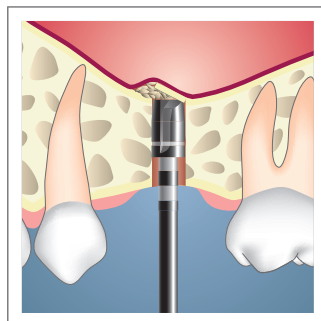
- ・その他の直径サイズ（ $\phi 3.0, \phi 3.25, \phi 3.5, \phi 4.0, \phi 4.5, \phi 5.0\text{mm}$ ）のリフティングドリルを使用する場合は、適応したツイストドリルを用いて拡大してください。

※リフティングドリルの上顎洞底骨への穿孔操作は埋入するインプラント体の直径より 0.5mm ~ 1.0mm 細い径を用いてください。

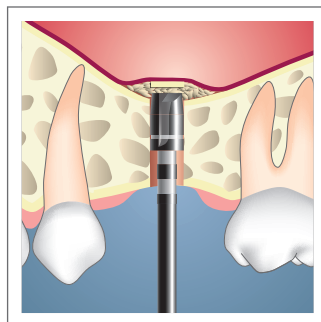
埋入するインプラントの初期固定を得る為、適切なサイズのドリルを用いてください。



3 拡大した骨孔にリフティングドリルを挿入し、上顎洞底部方向にドリリング操作を行ってください。（回転数は毎分 25 ~ 35 回転：無注水）

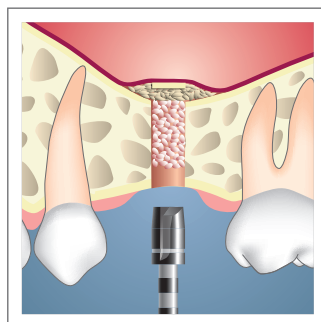


4 穿孔時、切削片が隙間より吐出し、上顎洞底骨と洞底粘膜の間に進行し剥離していきます。



5 挙上する部位の上顎洞底より 1mm 深く（上顎洞に 1mm 突出）、ドリリング操作を行ってください。

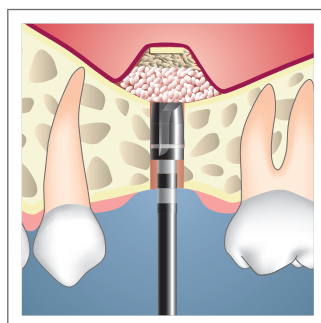
※ドリリング操作中、ドリルの溝に切削片が詰まると切削率が低下する為、溝に溜まった切削片は除去してください。



6 ドリリングした骨孔に充填物を填入し、本製品の **5** で使用したドリルを正回転にて毎分 25 ~ 35 回転で骨孔内の充填物を押し込み、上顎洞底粘膜の挙上操作を行ってください。

※押し込む際、ドリル先端部が上顎洞底より 1.5mm 以上突出しないようにしてください。

※填入操作でのドリル回転は途中逆回転での操作も有効です。



7 上顎洞底粘膜が必要となる高さまで、**6** の操作を繰り返し行ってください。